

オーストラリアにおける 離婚の基本知識

**Presented by
Daisuke Ueda, H&H Lawyers**

イントロダクション



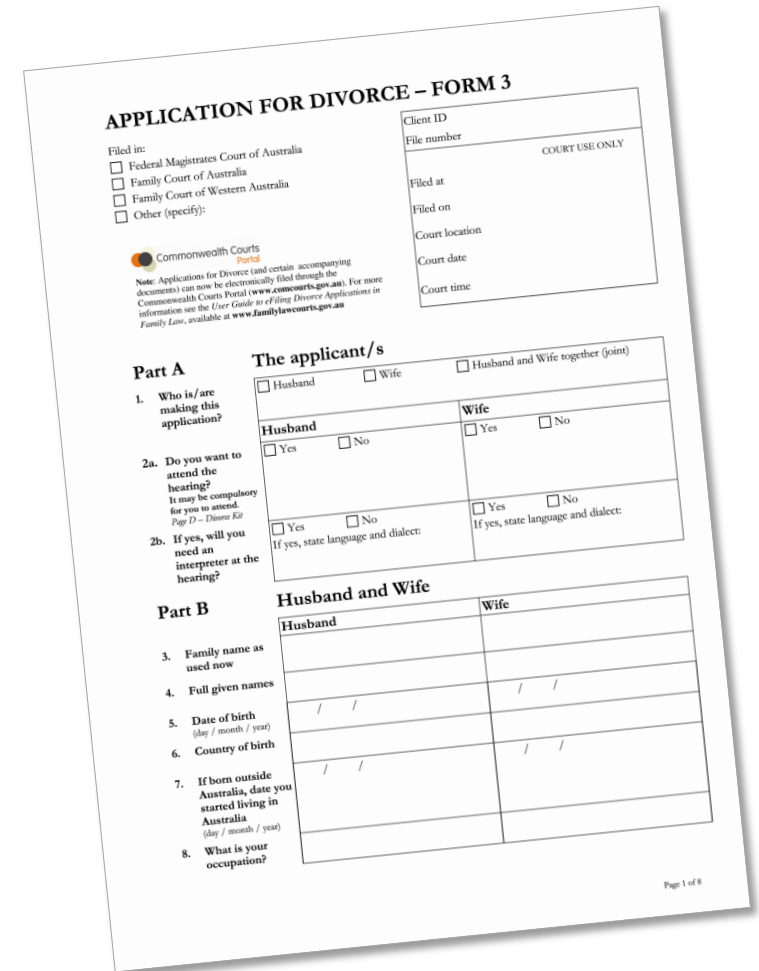
離婚に伴う3つの法的手続き

- Divorce Application
 - 法律上の婚姻関係を解消するための申立て
 - 婚姻財産や親権の問題とは独立した手続き
- Property Settlement
 - 婚姻財産の分配
 - 婚姻財産の形成に対する双方の「貢献度」の分析
- Parenting Responsibility
 - 別居・離別後における子どもの養育責任
 - 養育費（Child Support）は別の制度・管轄で扱われる



Divorce Application

- オーストラリアは“No-fault Divorce（無過失離婚）”制度を採用
- 12か月以上の別居が申立要件
- 日本での婚姻（戸籍上の婚姻）の取扱い
- 日本の戸籍上のみ婚姻している場合の離婚手続き
- 共同申請であれば手続きは比較的簡易
- 争いがある場合は手続きが長期化・複雑化する



APPLICATION FOR DIVORCE – FORM 3

Filed in:
☐ Federal Magistrates Court of Australia
☐ Family Court of Australia
☐ Family Court of Western Australia
☐ Other (specify):

Commonwealth Courts Portal
Note: Applications for Divorce (and certain accompanying documents) can now be electronically filed through the Commonwealth Courts Portal (www.courtswest.gov.au). For more information see the User Guide to eFiling Divorce Applications in Family Law, available at www.familylawcourts.gov.au

Client ID
File number
Filed at
Filed on
Court location
Court date
Court time

Part A

1. Who is/are making this application?
☐ Husband ☐ Wife ☐ Husband and Wife together (joint)

2a. Do you want to attend the hearing?
It may be compulsory for you to attend.
Page D – Divorce Kit
☐ Yes ☐ No

2b. If yes, will you need an interpreter at the hearing?
☐ Yes ☐ No
If yes, state language and dialect:

The applicant/s

Husband	Wife
<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No If yes, state language and dialect:	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No If yes, state language and dialect:

Part B

3. Family name as used now

4. Full given names

5. Date of birth (day / month / year)

6. Country of birth

7. If born outside Australia, date you started living in Australia (day / month / year)

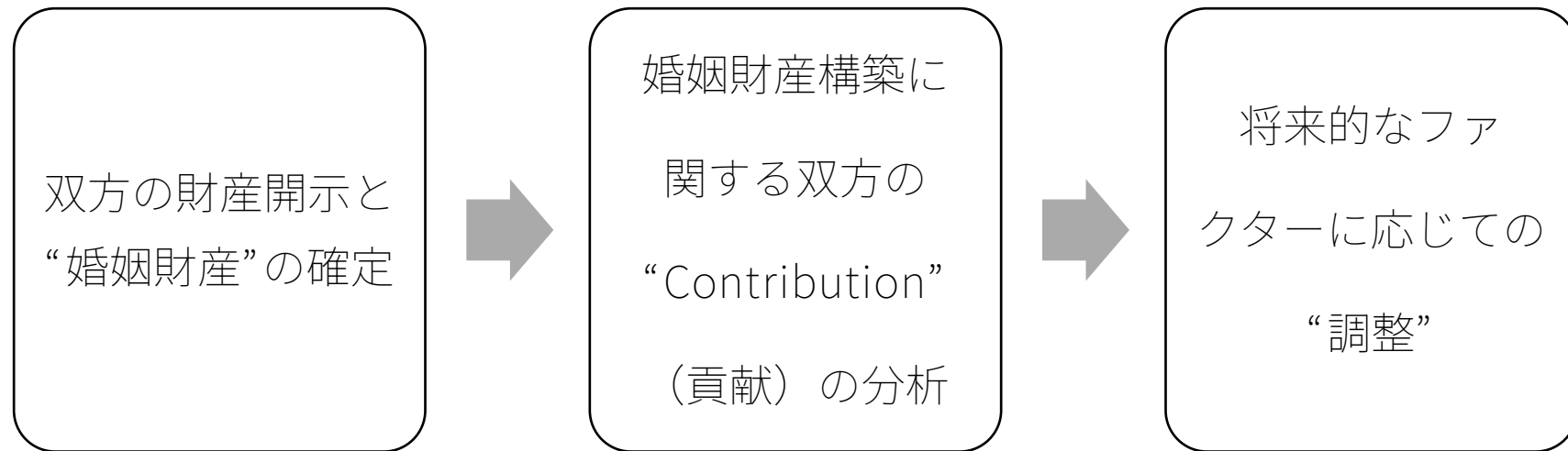
8. What is your occupation?

Husband	Wife

Page 1 of 8

婚姻財産分配

- 婚姻財産分配の裁判開始の期限
- 婚姻財産分配に関する分析



婚姻財産の確定

- 双方の財産の完全な開示義務
- 名義のいかんを問わず開示対象
- 海外資産も開示対象
- 負債も開示対象
- 収入・支出は「財産」そのものではないが、財産分配の評価要素となる

→分配対象となる「婚姻財産」の確定



婚姻財産の構築への “貢献”

- 金銭的貢献（Financial Contribution）
- 非金銭的貢献（Non-financial Contribution）
- Initial Contribution（婚姻開始時の持込み財産・当初の貢献）とは何か



分配割合・金額の“調整”

Family Law Act – Section 79(5)より抜粋

- それぞれの年齢や健康状態。
 - それぞれの収入、財産、貯蓄などの経済状況や、働いて収入を得ることができる身体的・精神的な能力。
 - 夫婦の一方が、わざと又は重大な不注意によって、多額の婚姻財産を無駄に使った事情があるか。
 - それぞれが、自分自身や扶養すべき子ども、その他の家族を養うために負っている生活上の支出や責任。
 - 国や州、外国の制度などから、年金や手当を受け取る資格があるかどうか。
 - 実際に年金や手当を受け取っている場合、その支給額。
 - 別居や離婚後において、事情を踏まえて妥当といえる生活水準がどの程度か。
 - ドメスティックバイオレンスがあった場合、被害を受けた側の現在や将来の生活にどのような影響を与えるか。
 - 財産の分け方を変更することで、どちらかが学び直しをしたり、事業を始めたり、安定した収入を得られるようになるか。
 - 結婚していた期間の長さや、その結婚生活が、それぞれの働く力やキャリアにどのような影響を与えたか。
- など。

婚姻財産分配問題の決着方法

婚姻財産分配訴訟

Consent Ordersによる合意の反映

Binding Financial Agreement

当事者間だけの（法的効果の弱い）合意

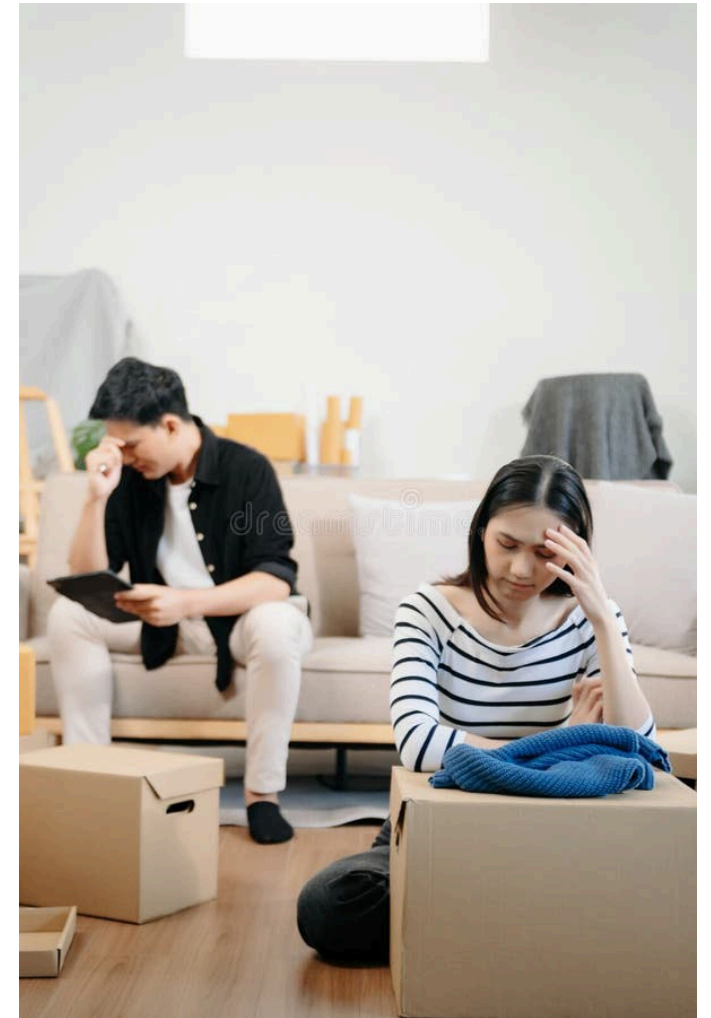
Parenting

“The Best Interest of the Child” が最優先事項

- ① 子どもと養育者の「安全」
 - 子どもが、家庭内暴力、虐待、育児放棄、その他の危険から守られているか
 - 子どもの世話をしている人（親かどうかを問わず）が、安全に生活できているか
- ② 子どもの意見
 - 子ども自身がどのように感じ、何を望んでいるか（年齢や理解力に応じて裁判官の重視度が変わる）
- ③ 子どもの成長や心のニーズ
 - 子どもの成長段階に合った発達上の必要性
 - 心理的・感情的な安定文化的な背景やアイデンティティを大切に必要性
- ④ 親の養育能力
 - 親が、子どもの心身の成長や感情面、文化面のニーズを適切に支えられるかどうか
- ⑤ 安全が確保できる場合の人間関係
 - 安全が確保できる限りにおいて、子どもが親や、祖父母など子どもにとって大切な人と関係を持てることが、子どもにとってプラスになるかなど。

Parenting問題の決着方法

- 口頭による Parenting Plan（法的拘束力は低い）
- 調停（Mediation／Family Dispute Resolution）
- 書面による Parenting Plan（合意内容の明確化）
- Consent Orders（合意内容の裁判所命令化）
- 裁判



子の養育費 (Child Support)

- 原則として裁判所の専属管轄ではない
- 法令に基づいて支払額が算出される
- Child Support Estimator (支払額試算ツール) :

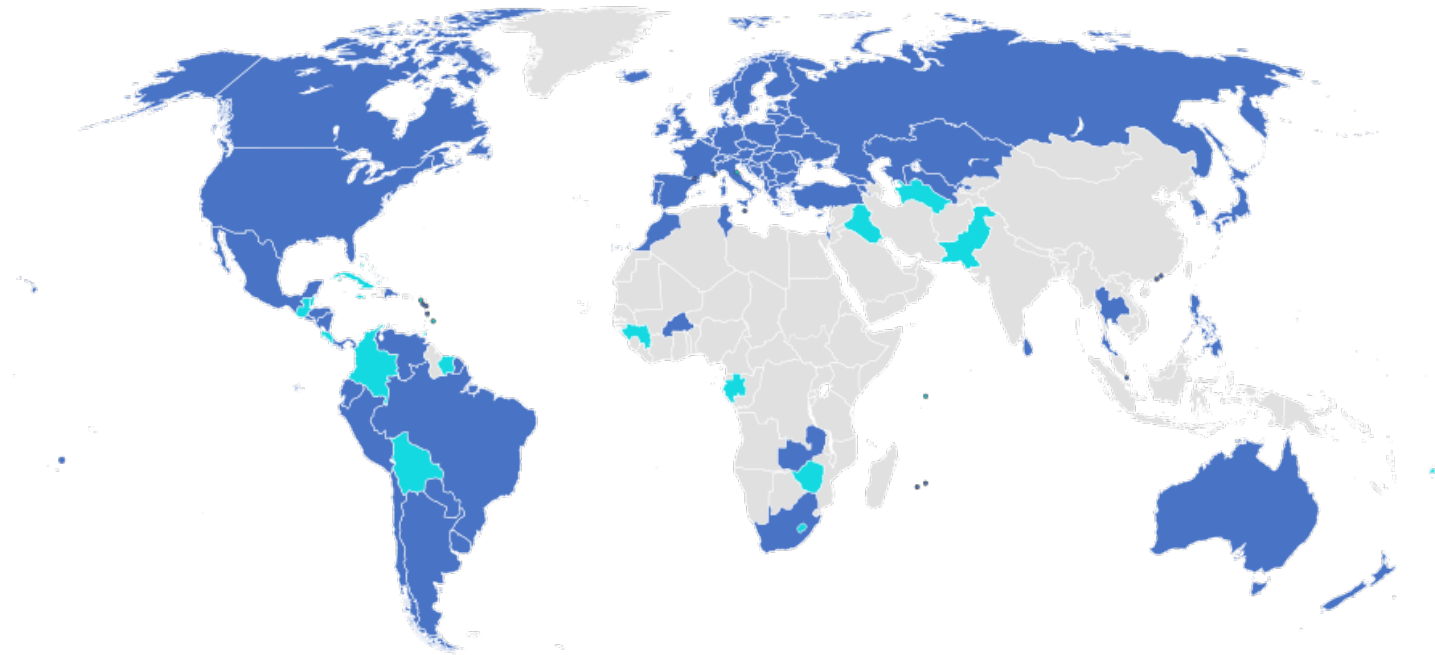
<https://processing.csa.gov.au/estimator/About.aspx>



Australian Government
Services Australia

子連れで日本に帰りたい

国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約（通称“ハーグ条約”）





まとめ